

日本の感性と中国の伝統融合 流山で書画交流美術展

日本の感性と中国の伝統を合体した
作品が並んだ日中美術交流展
流山市中（江田隆一撮影）



25日まで、観覧自由。

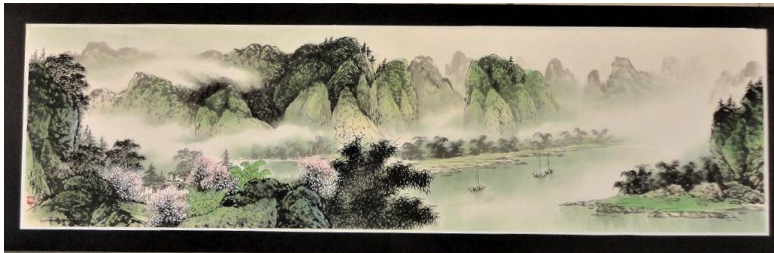
中国・北京出身で松戸市在住の水墨画家、史志輝さん（65）が指導する教室で学ぶ48人の作品68点と、中国書画家24人の作品を紹介する「日中美術交流展」が、流山市中の生涯学習センターで開催されている。
ハスの花を描いた、西川誠之さんの「和風臨深春」などは、日本の感性と中国の伝統が合わさった作品。昨年3月に98歳で死去した川島照さんの達観の遺作「春回大地」は、春の花が美しい。中国作家コーナーでは、史さんの祖父、史怡公さんや清朝の皇帝一族の書家の作品も展示されている。

小さな交流・広がる友情 第21回 日中美術交流展

5月20日(木)～5月25日(火)
AM 9:00～PM 6:00
(初日 PM1:00開場、最終日 PM3:00閉場)

本展を通じて、日中両国の美術交流が一層盛んになり
相互理解と友好が更に深まることを願っている

主催：日中水墨画研究会
後援：中国大使館文化部・日本中国友好協会



5月20日より25日までの6日間、流山市・生涯学習センターにて開催されました「日中美術交流展・第21回」は通算600名を超える方々のご鑑賞をいただき熱く御礼申し上げます。

終了後、直ちに御礼のご挨拶をすべき所、産経新聞千葉版に名前入りで紹介されるなどインパクトもあり、少し気が抜けまして遅れました。

この数字は従来の約半分で、やはりコロナの影響がしっかりと出ていました。

しかしご鑑賞に来ていただいた方々は熱心に見ていただき、会員は日頃の精進の結果と喜んでおります。

小生は旧作展示でしたので、日頃の努力とは縁遠いのですが、展示から撤収迄の6日間の内4日間も通い、流山市開催のお手伝いをしたつもりです。

来年も流山市開催となりそうです。その際はまたよろしく御礼申し上げます。

まずは御礼とご報告をさせていただきました。

2021. 05. 31 西川 誠之

← 出展した2作品の前で
↓ 今年もまた始まっている

中国画教室 入門

初心者対象
2021年
5月～

～基本から伝統技法まで～

水墨画が初めての方でも筆の持ち方から始めるので安心です。墨の濃淡を工夫しながら、お道具に揃き出す難しき分ですが、志輝先生の指導のもと受講生が取り組んでいます。



【内容】 竹、花、朝顔、鳥、花鳥画、工筆画と山水画、懸など
【日時】 火曜日 10:15～11:45
5月(11日) 6月(22日) 7月(20日) 8月(24日) 9月(21日)
【料金】 1回1,020円 [見学]無料 [体験]1,020円
【持ち物】 筆(大・中・小)、筆洗、文鎮・敷物・丸皿(2、3枚)、墨汁
講師はなるべく各自でご用意をお願いします。その他は、借りることができます。
【講師】 史志輝先生 北京美術協会会員・日中水墨画研究会会長
1955年中国北京生まれ。幼くして中国の著名な画家であり美術理論家の祖父、史怡公氏の手ほどきを受け、水墨画を始める。その作風は、中国伝統の技法に日本の新しい技術を取り入れた、力強い筆致と感動的な気韻が特徴と評価されている。
【問合せ】 04-7150-7474 流山市生涯学習センター(流山エルス)

